

早期教育の多い音楽の世界にあって、ベルリオズのスタートは少しゆっくだ。少年の頃に習ったのはフルートとギター。ピアノは習ったことがない。裕福な医者の子に生まれ、両親の意向でしぶしぶ医学生となり、パリへ出てきてはじめてのオペラに大感激したのは17歳の時。少年時代から独り作曲をしていたともいうが、ここからパリ音楽院の門をたたき、実際に大作曲家となるのだから人生わからない。人生を変えていくのはいつだって情熱だ。

思い立ったら、まっしぐら

# エクトル・ベルリオズ

Hector Berlioz  
(1803–1869)

C  
2023  
DECEMBER  
[第1998回]  
👁️👁️

スミソンへの愛に思い悩むベルリオズ  
イラストレーション: ©IKE

## 言葉がわからなくても大丈夫？

パリで音楽を学ぶベルリオズは、ある日、イギリスからきたシェクスピア劇団による『ハムレット』の公演を観劇した。当時、英語はほとんどわからなかったベルリオズなのだが、その舞台に出演していた女優ハリエット・スミソンにすっかり魅せられてしまう。言葉がわからなくても、交響曲がひとつ出来上がってしまうくらいに想いを募らせるベルリオズの情熱は……、やはり常人離れしている。